

心に残るひと言

「苟^{まごと}に日に新たに、日々に新たに、
又日々に新たなり」



愛媛県議会議員 木村 誉

葉を心に刻みながら修身に努め、
さて。
後世の伝説となる善政を布かれ
たと言われています。

私が特に感銘するのは、精進
の的を外に求めず自らとする点
です。

これは私が議員に転身する
際、在籍していた企業の会長か
ら頂いた餞の言葉であり、初め
ての本会議質問で披瀝した、私
の“初心”です。

その通解には「君子たる者は
現状に留まるのではなく、日々
精進を怠らず、昨日よりも良い
自分を築き上げていかなければ
ならない」とあり、殷の湯王は
毎朝、洗面器に刻まれたこの言

誰かと比べたり何かに照らす
といった相対評価ではなく、
“より良い自分を、日々新たに
築き上げよう”と自らに課す生
き方は、正に至高の人生という
他ありません。その言葉の持つ
重みと深さと、幾千年を超えて
誠に有難いことに“初心、些
かも搖るがず”です。これから
も自らを日々新たに築き上げな
がら、志を貫いてまいりたい
と思います。